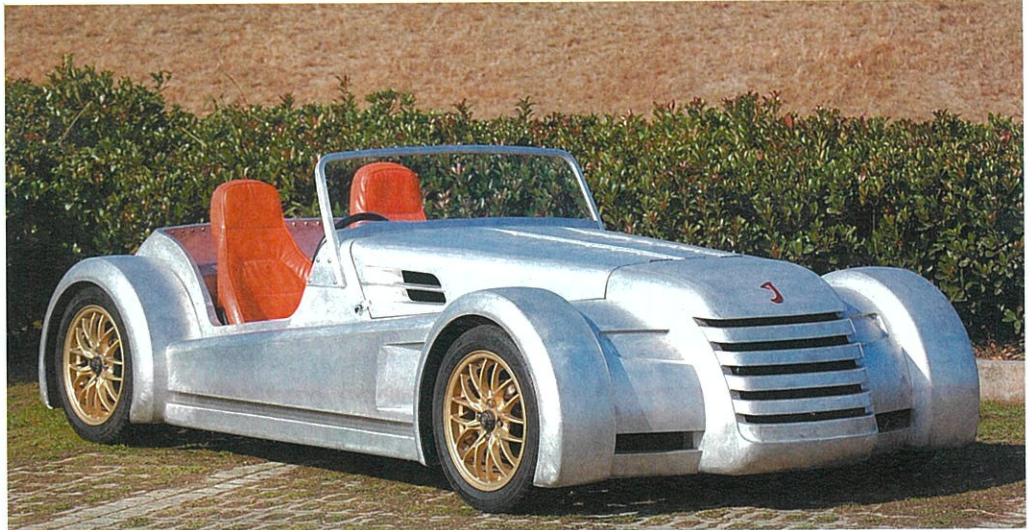


多能工を育てる“技の伝承”

創業 ● 1980年10月
住所 ● 〒566-0052
大阪府摂津市鳥飼本町4丁目4-29
TEL ● 072-654-3588
FAX ● 072-654-5058
社員数 ● 27名
MAIL ● info@amiya1980.com
代表・問合せ担当 ● 中村 恒

主要三品目

- 試作板金・叩き（打ち出し）
板金・精密板金
- 積層金型やZAS型による絞り加工
（油圧プレス）
- 小中ロット量産品加工
（SPCC,SPHC,SS,SUS,アルミ）



職人による技術伝承



朝のミーティング

株式会社アミヤは、「職人による叩き板金加工」と「機械設備による板金加工」のハイブリッド板金加工メーカーである。

アミヤの叩き板金加工職人は、皆、多能工でもあることが、大きな強みとなっている。近年では、多くの企業は、生産効率を上げるために分業化を進めている。しかし、アミヤの代表取締役社長、中村恒氏は「従業員は皆、多能工である必要があると思うんです」と言う。なぜなら、忙しい工程に労働力を集約させて作業員の負荷を平準化したり、生産性の向上を図ったり、納期・価格の面で最適な提案をするには、分業化もさることながら一人の職人がいくつもの技術を持っていることが大事なのだと考えている。

多能工として一人前になるには、10年以上の歳月とそれを教える先輩が必要だ。そのためアミヤの従業員は、10代～70代までの全ての世代がいる。それは長きに渡って技を継承した結果でもある。定着率が高い理由のひとつには、従業員自身も多能工のため、毎日が単純作業にならずにモチベーションを高く保てているということもある。

その働き方をのぞいてみると、朝のミーティングでは図面を確認し、最適な加工方法の検討を全員で行ってから作業に入っている。また、仕事前の短時間ミーティングでは、仕事の段取りと検討を全員で行うことによって、個々の能力の向上にも繋がっている。

恒氏も、最近では現場に入ることはなくなったが、例にもれず多能工である。会社創業当時は自動車メーカー、農機具メーカーからの仕事がメインであったが、恒氏が専務であった時からWEBによる営業にも力を注いでおり、HP、エミダスからも新規の受注をしてきた。その結果、現在の取引先は自動車メーカー、農機具メーカーのほか、半導体メーカー、医療機器メーカーと多岐にわたる。また、HPには株式会社アミヤ製オリジナル電気自動車のテスト走行動画も掲載しており、最近ではそれを見た大手自動車メーカーから、展示会用コンセプトカーのフェンダー部分の制作依頼が入った。納期が短かったにもかかわらず対応できたのは、アミヤがハイブリッド板金メーカーだという技術に支えられているからだ。

このようにアミヤは、市場ニーズの多様化に合わせ、『多品種少量生産』時代に柔軟で最適な生産体制で対応するために全ての従業員を多能工として育成している。もちろん今年入社した従業員2名も多能工として育てている。未来へも、技を伝承するために。